

『常陸大宮市史』編さん事業展 茨城大学にて開催！

9月20日から10月5日まで、茨城大学水戸キャンパスの図書館展示室にて、同大学人文社会科学部の授業を受講した学生が提案・企画、運営した「茨城大学の学生が考えた『常陸大宮市史』編さん事業展」が開催されました。

常陸大宮市では、平成28年から「常陸大宮市史編さん事業」が本格スタートし、今年6月には、第1冊目である『常陸大宮市史 別編2 自然』を発売しました。この取り組みを市内外にPRする方法を学生たちに考えてもらい、今回の展示会に至りました。

チラシ作成やハッシュタグを活用したSNS運営、素敵なイラストや楽しい展示物の作成など、学生たちの持つ力を生かした活動を行っていただきました。ご尽力いただいた茨城大学の皆さま、ありがとうございました！



▲展示会準備中の様子。学生手作りの大小さまざまな「いずみちゃん」パネルが並びます。



▲チラシも学生が一から作成。フレッシュなイメージで素敵なチラシを作っていただきました！

●● 企画参加した学生からのコメント ●●

茨城大学大学院 人文社会科学部研究科人文科学専攻
1年 山口 葵さん

私は展示会設営と受付に参加し、来場者の方が見やすいように展示パネルの位置などを工夫しました。この企画を通して、常陸大宮市の歴史や自然を学ぶことができよかったです。

茨城大学 人文社会科学部 人間文化学科
2年 福家 さゆりさん

展示会の工夫の一つとして、来場してくださった方々に感想を書いていただくスペースを設けました。常陸大宮市の木である桜をモチーフに花びらに感想を書いていただき、桜が完成していくような仕掛けにしました。

茨城大学 人文社会科学部 人間文化学科 2年 林 実里さん

大学生にも展示の内容を親しみやすくするために、「いずみちゃん」の顔出しパネルを作成しました。パネルを作成して並べていくのは楽しかったです。私は一番小さなものがお気に入りです。

茨城大学 人文社会科学部 人間文化学科 1年 阿部 萌歌さん

「いずみちゃん」のパネルを立てるのに苦戦しましたが自立させられたときはうれしかったです。展示の運営に携わることができて、大変貴重な経験になりました。



▲左から、山口さん、福家さん、林さん、阿部さん